

平成26年度青森市西部市民センターのモニタリング評価結果（1回目）

青森市西部市民センターについては、青森市西部市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

平成26年8月、管理運営状況について、協定内容どおり適正かつ確実なサービスが提供されているかを、事業報告書及び実地調査等により、下記のとおり評価しました。

評価実施日 平成26年8月6日

施設名		青森市西部市民センター		
施設設置目的		住民のふれあいと連帯感あふれる地域社会づくりを推進し、併せて地域文化活動の振興、生涯学習の充実、健康の増進を図り、もって豊かな市民生活の形成に資するため設置しています。		
所在地		青森市大字新城字平岡163番地22		
指定管理者		青森市西部市民センター管理運営協議会 代表者 会長 加川 幸男 住 所 青森市大字新城字平岡163番地22		
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日		
区分	評価項目	実施内容	評価結果	
			良好	改善必要
管理について	適正な配置となっているか	管理責任者1名、管理運営業務3名、庶務経理業務1名、設備管理業務3名、事業関連業務2名、指導員3名、プール業務員6名の計19名で勤務ローテーションを組み、日中は常時3～5名、夜間は2～3名配置され適正な配置となっている。	○	
	職員の研修が行われているか。	内部研修は毎月実施予定で、管理運営や接遇など5回実施した。9月にはプール指導員の研修を予定している。外部研修は「公民館と住民のアシスト講座」など3回参加した。	○	
	保守点検業務が適正に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、施設全般の保守点検が適正に行なわれている。施設設備等の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応している。	○	
	防犯、防災等緊急時の対応に的確な対応が行えるようにしているか。職員研修が実施されているか。	緊急時連絡網を事務室に貼り出し、防災マニュアルは手元に備え付けしている。防災訓練は年2回実施予定。1回目として、来館者や地域団体を含めた防災訓練を9月に予定している。	○	
	個人情報保護について適切な対応が行われているか。	団体登録書、使用申請書や受講申請書等の簿冊は鍵付のキャビネットに保管し、不要な持ち出しがないようにしている。また、パソコンにはパスワード設定し、利用団体代表者等の連絡先等の紹介は事前に了解を受けた団体のみ行なうなど、適切に対応している。	○	
	省エネに努めているか。	照明やOA機材などの適正使用及び家電製品の使用の見直し、暖房の温度管理、紙の裏面再利用など様々な面で、継続して省エネに努めている。また、ポスターを掲示し、来館者へ理解と協力を呼びかけている。	○	
運営について	市民の平等利用が確保されているか。	特定の団体などへの便宜や不当な扱いがないように配慮し、団体登録制度や抽選制度（月末実施）を取り入れている。抽選への申込み重複参加は受付しないなど、平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	館内に意見箱を設置し、利用者の声を積極的に聞いている。事業実施の都度、利用者アンケートを実施しニーズの把握に努め、次期事業の企画立案の参考としている。また、利用者懇談会を年1回実施し、センター運営に反映させている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	児童集会所の管理運営について新城中央小学校と連携し、月1回及び長期休業前に意見交換会を行っている。市民センターまつりや、春の文化展、新城まつり、雪まつりなど四季をとおして、地域の各団体と連携を図っている。	○	
	事業が計画どおり実施されているか。	計画どおり実施されている。	○	

平成26年度青森市西部市民センターのモニタリング評価結果（1回目）

【総合評価】（協定内容（要求するサービス水準等）に対し良好かどうか。）	
管理運営状況については、良好である。 今後も、施設の各種保守点検及び利用者のニーズの把握に努め、利用者数の増加を図るため、さらなる努力をしていただきたい。	
【改善が必要な内容についての指導等及び改善策】	
評価担当課	青森市教育委員会事務局 中央市民センター 電 話：017-734-0163 メー ル：chuo-center@city.aomori.aomori.jp